

拝啓 先日はお忙しいのにわざわざお時間をお取りくださり、ありがとうございました。

すでに終わったこととはいえ、さまざまに思いがあらわれてはさいなまれるうつうつとした気持ちがぬぐえずにありますので、大谷さんからお誘いはとてもうれしく、そのうえ親身なお励ましをいただき、かなり気分の晴れる思いがいたしました。

おっしゃるように、妻子と暮らした家を引き払い、新しい土地と住まいで、また新たなスタートを切ろうと決めました。

そして、仕事に専念するつもりです。寝食を忘れるほど仕事に打ち込んで、疲れ果ててしまうのが、いちばんだと思います。酒や賭事は、無為な感傷をあおるばかりだと知りました。

ふつつかな私ですが、これからもどうかお導きくださいますよう、お願い申し上げます。

とりあえずお手紙でお礼まで申し上げます。

敬具